

1. 件名:「JMTR二次冷却システムの冷却塔倒壊に係る対応について」に関する面談

2. 日時:令和2年2月5日(水)13時45分～14時45分

3. 場所:原子力規制庁 2階会議室

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設等監視部門

福吉主任監視指導官、木村主任監視指導官

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

大洗研究所環境技術開発センター 材料試験炉部 次長 他3名

5. 要旨

(1)国立研究開発法人日本原子力研究開発機構(以下「原子力機構」という。)から、「二次冷却システムの冷却塔倒壊(法令報告)に係る「同種の冷却塔の対応」の現状等について」として12月20日の面談以降の対応状況、水平展開等の状況について、以下のとおり説明があった。

- ・二次冷却システムの冷却塔の倒壊現場は基礎を残し整理が完了し、瓦礫等はバッグに収納し、保管場所を定めて搬出まで保管する。
- ・二次冷却システムの冷却塔と同様に木造の設備は同 JMTR の UCL 系統冷却塔のみである。
- ・UCL 系統冷却塔については、経年劣化の状況を確認中で、現状上部の水蒸気が当たる部分の劣化が若干進んでいることが判明しており、補強のためワイヤーロープで固定している。
- ・JMTR は廃止措置計画認可申請を提出しているが、UCL 系統冷却塔は当面維持が必要となるため、調査結果に基づき必要に応じて対策する計画である。

(2)原子力規制庁から、既提出報告書を誤記修正のうえ、2月末目途で提出するよう伝えた。

(3)原子力機構から、主旨を踏まえ対応する旨返答があった。

6. その他

配付資料

- 二次冷却システムの冷却塔倒壊(法令報告)に係る「同種の冷却塔の対応」の現状等について